

1 目指すべき図書館像

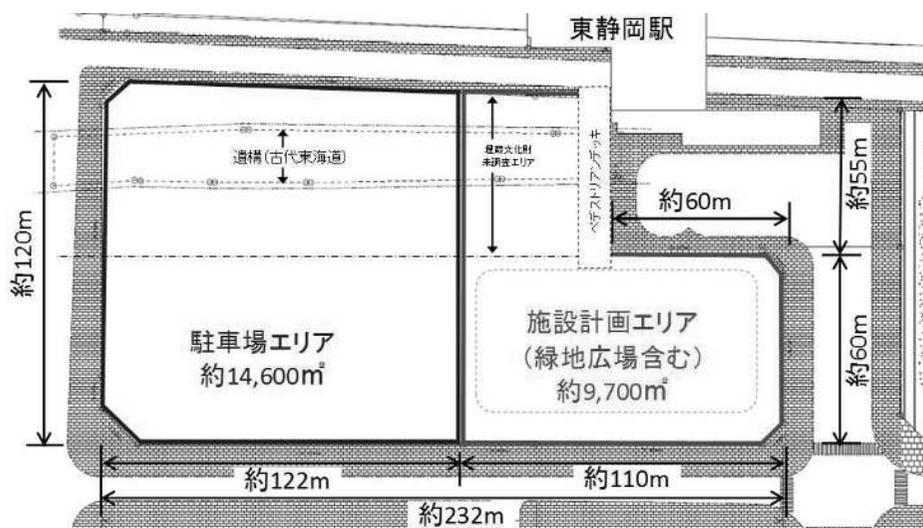
■ 県民の知のインフラとしての機能

- ・確かな収蔵力200万冊、公開書庫（開架80万冊【日本一規模】）
- ・充実したデジタル情報アーカイブ
- ・利用者のニーズに最適な閲覧環境（一般利用から研究利用まで）

■ 未来につながる新しいタイプの機能

- ・図書館の枠を超えた学び・交流・創造する場の提供
- ・カフェ・ラウンジも含めた県民が憩えるサードプレイス

2 想定施設配置



3 図書館等の機能

対象施設	内容	
全体予算額	約180億円 (本体施設整備費、附帯施設整備費、備品家具購入費、システム整備費他)	
延床面積	約19,680㎡	
(全体)	富士山を眺望し、東静岡の景観構成に相応しい美しいデザイン 脱炭素化社会の実現に向けた環境性能 コロナ後の生活様式、DXに対応した空間機能	
従来の 図書館機能 【拡充】	一般閲覧スペース	調査利用から気軽な読書まで様々なニーズに応じた閲覧環境 専門性の高い豊富な資料が整然と整理された書架 高度なレファレンス、課題解決支援
	児童書関連スペース	子供が直接本と触れ合うことができる児童室 全点収集された中から成人が子供のための本を選ぶ事ができる子ども図書研究室
	地域資料スペース	ふじのくにの事ならなんでも分かる充実した地域資料 調査研究に没頭できる閲覧環境 葵文庫などの稀覯書を見る事ができる貴重書展示
	学びの活動スペース	利用者の研究活動や学習活動に没入できる様々な場の提供
新しいタイプの 図書館機能 【拡張】	交流スペース	知的想像力を拡張する多様なメディアによる新たな情報アクセスとテーマ別配架 様々な「学び」「交流」「創造」活動を支える知的体験のプラットフォーム
	カフェ・ラウンジ	読書や会話を楽しみながら食事ができる憩いの場
保存 エリア	公開書庫	豊富な本の中から直接手に取って探す事ができる空間
	閉架書庫	資料を確実に後世に引き継ぐ事ができる確かな収蔵能力
	貴重書庫	葵文庫や久能文庫等、歴史的に貴重な資料の保存
管理エリア	利用者エリアと明確に分かれつつ、十分なサービス提供ができる運営機能の充実 市町立図書館を支援する機能の充実	
ベネストリアンデッキ		駅から雨に濡れずに図書館に行ける屋根付き通路による利便性向上
		富士山眺望が可能な位置にテーブル・ベンチを設置し、集える場の提供
緑地広場・その他外構	緑を感じられ、落ち着いてくつろげる憩いの空間 遺構（古代東海道）を活かした歴史を感じられる場の提供	
駐輪場・駐車場	利用者の利便性向上のため、確かな収容能力	